

# かわさき 図書館だより



図書館ホームページ : <http://www.library.city.kawasaki.jp/>

「読書のまち・かわさき」図書館講演会

## 島田雅彦氏と 語り楽しむつどい **夢見る能力**

平成17年3月19日(土) 午後2時 ~ 3時30分

小説家でありながら、時には詩人、オペラ作家、食文化評論家、そして大学教授...と、いくつもの顔をもつ「文芸百貨店」島田雅彦氏は、実は川崎に育ち、川崎を拠点に活動を続けている作家の一人です。



そんな島田氏と膝を交えて、作品や趣味について、これからの創作の夢について、語り合います。

平成17年、早春の午後を、島田雅彦氏を囲み、楽しく過ごしていませんか。

多数のご来場をお待ちしています。

講演終了後には、3時40分からサイン会も予定しています。(サインは、島田先生の著作に限らせていただきます。)

### 島田 雅彦 (しまだ まさひこ)

- ・1961年生まれ。
- ・東京外国語大学ロシア語科卒業。
- ・大学在学中に執筆した『優しいサヨクのための嬉遊曲』で作家デビュー。  
主な著作には『彼岸先生』(新潮文庫)、『自由死刑』(集英社文庫)、『彗星の住人』、『美しい魂』、『エトロフの恋』(新潮社)などがある。

多数の著作は、小説・エッセイ・評論などの文学のジャンルにとどまらず、旅行記や、料理・住宅に関するものなど幅広い。また、「忠臣蔵」「Jr バタフライ」などのオペラの台本も手がけ、表現活動は多岐にわたる。

2003年より法政大学国際文化学部教授。川崎市在住。

**場 所** 川崎市中原市民館 大ホール  
(JR南武線・東急東横線 武蔵小杉駅  
下車徒歩5分)

**対 象** 関心のある方はどなたでも。  
参加無料。定員450名。

**申込み** 往復ハガキに、  
参加希望者全員の氏名  
(1枚につき4名まで)  
代表者の住所・電話番号  
島田雅彦氏に聞いてみたいこと  
をご記入のうえ、下記の住所まで。  
3月7日(月)消印有効。

〒211-0063 中原区小杉町 3-417  
川崎市立中原図書館 講演会係

申込み多数の場合は抽選になります。

**主 催** 川崎市教育委員会(川崎市立図書館)

**問合せ** 川崎市立中原図書館 722-4932



# 人生いつも初体験

27年半におよぶ新聞連載。その後も66歳から運転免許を取得したり、パソコン学習やウォーキングに挑戦したり...

「人生いつも初体験だ!」と、どんなことにも勇気と好奇心を持ってチャレンジしているサトウサンペイさんが語ります。

- 講師 サトウサンペイさん(漫画家)
- 日時 平成17年3月2日(水)  
午後6時開場 午後6時30分開演
- 場所 多摩市民館大ホール  
JR南武線登戸駅下車 徒歩15分  
または小田急線向ヶ丘遊園北口下車  
徒歩5分
- 定員 300名(応募多数の場合は抽選)
- 費用 無料
- 申込み 往復ハガキに応募者全員  
(1枚につき2名まで)の住所・氏名・  
電話番号をご記入の上、下記まで。  
〒214-8570 多摩図書館「講演会」係  
(住所は不要です)  
2月20日(日)必着
- 問合せ 川崎市立多摩図書館 935-3400

## プロフィール

- ・1929年 大阪生まれ。
- ・京都工業専門学校  
(現・京都工芸繊維大学)  
色染科卒業。
- ・大丸(心斎橋店)宣伝部  
勤務をへて、漫画家に。
- ・65年から27年間、  
朝日新聞に連載漫画  
「フジ三太郎」を描く。

ほかに週刊朝日「夕日くん」など連載多数。



イラスト・写真 サトウサンペイ

## 図書館で職業体験!

図書館では、いろいろな形で学校との連携を行っています。近年増えているのが、中学校の職業体験。参加者の図書館に対する思いはさまざまですが、参加した皆さんは一律に、「図書館の仕事って、カウンターのほかにイロイロあるんだ...!」と、驚いている様子...。裏側から見ることで、意外な発見があるようです。

ご利用の皆さまも、職業体験の生徒さんを見かけたら、ぜひ、温かく見守ってください。よろしく願いいたします。



## 図書館に関する 請願が提出されました

昨年は、図書館業務の一部が委託になるなど、図書館を取りまく情勢に大きな変化のあった年でした。

そのような中で、図書館を愛し、関心を寄せる市民の皆さまの中から「川崎の図書館ともの会」が生まれました。そして、6月に図書館サービスの充実を求めて、1275名の署名とともに、図書館に関する請願が市議会に提出されました。

第44号として受け付けられた請願の内容は、

- 図書館職員を減らさないでください
- 資料費を増やしてください

の2点で、8月25日の総務委員会審議の結果、継続審議中となっています。

「川崎の図書館ともの会」に関心のある方は、下記へご連絡ください。

「川崎の図書館ともの会」事務局(堀川万記子方)  
〒215-0021 川崎市麻生区上麻生2-34-7

# 稲城・狛江の両市立図書館と 協定を結びました

自治体の垣根を越えて図書館利用が可能に

川崎市立図書館は、利用者の皆さまが、地域の図書館を便利に利用できるようにと、近隣の自治体に対して働きかけを行ってまいりました。その結果、平成16年11月1日に稲城市と、また、12月1日には狛江市と、市立図書館の相互利用協定を結びました。

稲城市とは、麻生区・多摩区において、また、狛江市とは多摩区において隣接しています。この協定を結んだことにより、お互いの市民が、行政の枠をこえて、隣接する市の市立図書館を便利に利用できるようになりました。

川崎市民の方は、この協定にもとづいて、稲城・狛江の両市立図書館で、貸出・予約・相談・複写などのサービスをご利用いただけます。（ご利用に際しては、稲城市及び狛江市の図書館の規則をお守り

ください。）

また、稲城市民・狛江市民の方も、これまで川崎市在住・在勤・在学の方に制限してありました予約サービスが受けられるようになりました。

現在予約ができない緑色の貸出カードをお持ちの稲城・狛江市民の方は、お申し出くだされば、予約できるカードに切りかえさせていただきます。ご希望の方は、貸出カードと住所確認のできるものをお持ちのうえ、最寄の図書館の登録カウンターへどうぞ。

なお、両市立図書館との協定の詳しい内容については、図書館ホームページでご覧いただけます。

川崎市立図書館は、今後も、図書館を便利にご利用いただけるよう、近隣の自治体との連携に努めてまいります。

## 韓国・朝鮮語、中国語図書の データベース化がすすんでいます

川崎市立図書館では、現在、韓国・朝鮮語、中国語の図書のデータベース化をすすめています。

韓国・朝鮮語図書の蔵書数は、川崎市立図書館全館をあわせて約2,000冊。中国語図書は約1,200冊です。これらの本の情報（書名・著者名・出版社など）は、これまで、コンピュータではなく、カード目録などで管理されてきました。それというのも、従来の図書館コンピュータシステムでは、ハングルや簡体字（簡略化された字体の漢字）などの文字入力ができなかったからです。

市立図書館で所蔵している韓国・朝鮮語および中国語図書の8割以上は、JR川崎駅前の川崎図書館にあります。これらの図書については、実際に書棚を見ていただくか、カード目録をめくって検索していただくかなくてはならないというのが現状です。そこで、少しでも便利にこれらの図書をご利用いただくため、図書館内に専用の検索機を設置しようと、システムの開発とデータの入力作業に取り組んでいるところです。

開発中の検索機では、中国語図書は漢字、ピン



韓国・朝鮮語、中国語のカード目録。書名・著者名・出版社・出版年・大きさ・ページ数などが書き込まれています。

カード目録の内容をコンピュータに入力する李さんと裴さん。

イン（中国語の発音を表すローマ字）で、また、韓国・朝鮮語図書はハングルで、書名・著者名・出版社などを入力し検索することが可能になります。

今春から、川崎・中原など市内4つの図書館に検索機の設置を予定。図書データの輸入は、韓国語・中国語をそれぞれ母国語とする方をお願いして、作業は順調にすすめられています。

# かわさき歴史めぐり (5)

## 徳川氏の関東入国と川崎市域 5

法政大学名誉教授  
村上 直

川崎市域を貫流するニヶ領用水については、今までに数多くのことが論文や随筆等によって明らかにされています。なお、『川崎市史』の編さんにあたって収録した市域の<sup>じかた</sup>地方文書によりますと、用水の呼称については次のようにあります。

稲毛・川崎式ヶ領用水.....享保2年(1717年)  
稲毛・川崎両霞用水.....享保11年(1726年)  
稲毛・川崎式ヶ領組合用水  
.....明和9年(1772年)  
(『川崎市史・資料編2 近世』平成元年刊)

これらによって、江戸時代の流域農民は、ニヶ領用水については、若干異なる呼称を用いていたことが分かります。さらに、市域に所蔵されている他の地方文書によって、当時の農民がニヶ領用水をどのように呼んでいたか調べてみることも興味深いといえましょう。

また、このニヶ領用水を文政11年(1828年)頃に作成されたといわれる、幕府編さんの『新編武蔵風土記稿』にはどのように記してあるでしょうか。各村別の記載がそれぞれ異なっているので、この点を調べてみると次のようです。(カッコ内は村名)

稲毛川崎ニヶ領用水(上菅生・登戸・長尾・久地)  
稲毛川崎大用水(宿河原・堰・溝口)  
稲毛川崎用水(宮内・小杉・上丸子)  
稲毛用水(清沢・新城)  
川崎用水(井田・今井・新作・坂戸・木月・鹿島田)  
川崎大用水(戸手・塚越)

以上によって、「稲毛川崎ニヶ領用水」とあるのは、4か村だけで、他の村は各々異なった呼称であることが明らかです。「用水」か「大用水」かは、あまり大きな問題ではありませんが、村によっては、「稲毛用水」と「川崎用水」と分けていることに注目したいと思います。これによって、必ずしも「稲毛川崎ニヶ領用水」が正式の呼称ではなく、村によっては「稲毛」と「川崎」を分けて呼んでいたと思われる。たとえば、宮内村(中原区)の場合は、「稲毛川崎用水」の説明を「西ノ方北見方ヨリ流来リ。所々ノ水田ヘ注グ、又小杉用水、上丸子用水ト云。細流モ同村ヨリ来ル、コレラミナ稲毛用水ノ支流ナリ」とあります。地域によっては、別の用水名で呼んでいたとみられます。この点、小向村(幸区)では「稲毛用水、川崎用水ノ二流ヲ引用コ、共ニ隣村下平間ヨリ流レ来レリ」とあります。つまり、地域によっては「稲毛用水」と「川崎用水」に分けて呼び、支流の用水名も、各地の地名をつけて呼んでいたことが分かります。

### おわびと訂正

かわさき図書館だより第5号の2面において、「私設ゆりがおか児童図書館」の記述が、一部「施設ゆりがおか児童図書館」となっておりました。訂正するとともに、お詫び申し上げます。



編集・発行 川崎市立中原図書館

〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-417

044-722-4932

川崎市立図書館:

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橘分館(788-1531)

幸図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)

中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 管覧所(946-3271)